

2025/12/9開催 区長・役員おしゃべり会：意見交換会：参加者30名

役員・区長のなり手不足と選出

課題	解決策・改善につながる事例 提案・意見など
なり手不足・世代の偏り	
役員・区長のなり手不足(特に50～70代の世代がそっくり抜けている区がある) 地域役員の種類が多すぎる、仕事のない役もある	役員を減らす：仕事のない役をなくす提案 業務負担の軽減：業務一覧・定義の作成、マニュアルの見直し・作成
選出方法の課題	
民生児童委員や国勢調査員の役員選出に苦労している	班ごとにローテーションを検討
役員の選挙をやめたいが住民への周知をどうするか	困りごとの共有、情報発信は大切。
役員を引き受ける人の不平等・不公平感がある	性別、年代関係なく幅広く考える。慣例にとらわれない。
区の役職に女性が少ない・公式な場は男性が出る	女性登用：区の役職に女性の参画を促す
区長のなり手がいない	同年代のリスト作成：次の区長選出について、同年代リストから選ぶという方法を検討 ・次の区長は副区長からというルールがある

業務の負担軽減・明確化

課題	解決策・改善につながる事例 提案・意見など
業務の広範囲化・負担	業務時間の算出：時間的な負担を明確にするため、時間を算出することが検討
区長の役職が重く仕事が広範囲。年間100日の会議があ	特別地方公務員への位置づけ：区長が「特別地方公務

る区もある	員」になっている市町村もある
区民のクレーム対応に奮闘している	班長にまず報告してもらい、班長から区長にあげる。(情報共有と区長の負担を軽減)
行事の節約(削減)を進めている。世代間ギャップ有り。若い人は不要だと思っているが、年寄りには、今までこうしてきたので継続になってしまう。	
業務の不明確さ・引継ぎ	
役員の仕事マニュアルが必要(現在の手引は古い) 区の仕事の一覧やデータが残っていない 役員の仕事の定義や担当業務の明確化が必要 引継ぎが口頭で行われている	マニュアルの見直し・作成:区活動の手引が古いため、見直す、役員の仕事のマニュアルを作成する必要がある 業務一覧・定義の作成:業務の一覧、業務の定義、担当業務の明確化
市からの委託業務	
市から委託される仕事、市役所の仕事が多い 市からの連絡がバラバラで、市の中で連携がとれていないように感じる	・市役所の各課から連絡があり負担感がある。依頼したことを総務課に情報共有しておくことで区への依頼事項が把握できる ・報酬の議論:報酬・手当の不足
防災の業務を市が区に求めている、市の仕事を区が行っている	・業務の委任:前区長を代理にしたり、担当を置くことを検討
行政とのつながり・交流は必要	・区長おしゃべり会では気軽に情報共有できるため、行政職員に参加してほしい

報酬・手当・会計

課題	解決策・改善につながる事例 提案・意見など
報酬・手当の不足(24時間365日対応)	報酬の議論:市の依頼に対しては対価が必要
任期1年で3万円/月の金額や、定額+αなど、手当について	

議論が必要・市からの支給があるが、時間がかかる	
区長はほとんど手当を貰っていないのでは？	<p>市から手当＝区長業務交付金を受け取っている。また、区によっては、区費より区長手当が支払われる。それらは、区長の実務的負担・心労的な負担に決して見合っているとは言えない。</p> <p>-----</p> <p>過去に議会の答弁にあった。 調べたところ以下であった。 令和元年佐久市議会一般質問の回答 区長業務交付金 世帯割：世帯数×@170 規模別均等割：100世帯毎に1,000世帯以上の区分を上限として92,000～140,000円。 業務経費：区長会長64,000円、副会長39,000円、その他の理事 24,500円 いずれも毎年 11 月末日に交付</p>
会計業務の複雑化	
会計資料の作成が別々になっている	会計ソフト活用：フリーの会計ソフト(ちまたの会計)を導入。エクセルを使えない人も使える
会計の悩みは区ごとに異なり、通帳も多い	
会計を細かく分けなければならない。区内でも上・下2つに分かれていたり公民館分も一緒にまとめたりする。	区ごとにいろいろなパターンがある
手持ち現金について、他の区での対応の仕方を聞きたい。	<p>・一般的には手持ち現金ではなく、仮払金としている。例えば区で焼肉会をするのに、買い物する人がまとまったお金を区費(会計)より受け取り、即座に買い物を済ませ、領収書と釣銭を直ぐに会計に渡す。いつまでも、手元に現金を持たせることはしていない。</p> <p>・仮払いも極力避けている。</p> <p>会計が自己費用で立替、その領収書と同じ金額を通帳より引き下ろす。その日に複数あった場合、領収書毎に通帳より引き下ろす</p>
区費の徴収・管理	
新しく住居を定めた人から区費を徴収すべきか	ルール整備：区費を徴収する際のルールの整備が必要

	とされている
区費の集金は現金で行っている（一人暮らしの高齢者からの徴収が困難・施設入居者から徴収すべきか？）	集金方法の工夫：振込みの検討
区費を徴収する際のルールの有無（敷地が分かれると複数分支払うなど）	
集金の一括化をしたい。区費を年間4回集めている	
移住して新しい家を建てた場合、維持管理費（15,000円）を徴収している。区を出て行く方には、日割りで返却している。	

IT化・情報共有・地域活動

課題	解決策・改善につながる事例 提案・意見など
IT格差：ITツールを使えない人もいる（Excelなど）	
PC/プリンターが区長持ちで、紙とインクのみ支給	PC/プリンターが区所有のものが必要
情報共有の方法 情報提供の方法や、早くするための工夫が必要	オクレンジャーの活用：事例としてオクレンジャーを導入し日常の事務連絡・安否確認した
公民館のカギ管理	キーボックスの設置：事例として公民館のカギ管理について、キーボックスの設置している
地域活動	
いきいきサロンを生活の場とし、地域のつながりを深める工夫が必要	いきいきサロン：楽しいところに巻き込み地域のつながりを深める工夫
神社の管理、ゴミ置場の管理、防犯灯の管理	事例として神社管理をJAに依頼した
地域活動の人手不足	区の活動に高校生ボランティアに協力してもらった

公民館の活用	困りごとホットライン: 公民館を活用しスマホ操作など困りごとを対応した
--------	-------------------------------------

組織・運営

課題	解決策・改善につながる事例 提案・意見など
区の規模・境界	
高齢・少子化で運営が成り立たない。合区を希望している。	合併の検討: 区内での合意をとるのが難しいので市が介入してほしい
班(単位)の組み替えは時間がかかる	班を合併: 一度に行わず、数年にわたり編成
区の最小(最適)単位は5~7軒	防災の観点からも把握しやすく、民生児童委員のフォローもできる。
権限の明確化	
区長職に役員を動かす権限がない	区の規約で権限をはっきりさせる必要がある

環境美化

課題	解決策・改善につながる事例 提案・意見など
ゴミの問題: 橋の下でバーベキューを行った後の空き缶、鍋などが不法投棄されている。	区民が集まって片づけている。
・衛生委員を担当しているが、ゴミステーションに市の指定の袋どころかもっと巨大なゴミが捨ててあった。その処理をどう対応しているか聞きたい。	・数日、本人が取りに来るまで放置しておく。1~2週間そのままであれば区長が中を確認し、中身を見て個人情報があれば連絡。なければ分別して出す